

## 作業の安全と施設の維持に

数人がかりで、重いコンクリート製品を持ち上げて、慎重に設置

農道から水田に下りるために、専用の溝ふたが設けられています。しかしその位置が水田の中央付近に設置され

ているため、実際の作業には、時々不都合なことが出てきます。

た例えば、田植え機で作業をして水田から上がろうとすると、かなり複雑な経路を考えないと、無駄なく終わる

当会では昨年来、こうした水田出入用の溝ふたの改修策として、頑丈な

金属製のブラケットとコンクリート製溝ふたの組み合わせを試行しました。その結果、頑丈で安全性も高いと考えられ、本年度は5箇所改修をすることとしました。

作業箇所は、追加の溝ふたの多い、金原農道の西側周辺です。既存の金属製の板を取り除き、頑丈なブラケットを設置、その上にコンクリートふたを置きます。このふたは頑丈なため非常に重く一枚約90キロもあります。

これを注意深く持ち上げて、所定の位置に設置していきましました。直接手でつかむと、今度は離すときに指を挟んでしまう可能性が高いので、要注意です。5箇所20枚のコンクリートふたの設置は声掛け合いながら、慎重に行い問題なく終わりました。

ここで管理者は水田への出入りのために別の通路を設けているところがありません。丈夫な金属製の角パイプを連結したのですが、必ずしも水路に負担のかからないものとはいえませんので。

農業法人の担当者のお話では、溝ふたの使えない所もあって、かなり危険な場合もあるとのこと。今後も作業の安全と施設の負荷軽減、長寿命化に気を配りながら、予算の許す範囲で改善に努めます。



改修が済んだ出入り口

## ほのかな梅の香 春の訪れ

朝の寒さはまだまだ厳しいけれど、日差しは日増しに強くなってきました。

何よりたくさんの方が咲き出しましたね。雪の降るころから白い梅がちらほら咲き出したら、後を追うようにたくさんのお花々が花開きだしました。

写真は6班の重村さんと、原田さんのお庭の枝垂れ梅です。見ごろはもうしばらくですが、咲き始めも良いです。



左は地域でも一番大きい枝垂れ梅、右は重村さんの梅の花

# 河川の改修工事で安心な地域へ

平成21年7月の水害では、八方原地区にも大きな被害が出ました。6班・7班の周辺を流れる岡田川も堤防が深くえぐられ、農地の一部が失われてしまいました。

部分的な改修工事が始まっていきます。これまでも部分改修が行われており、その継続分だと思われています。工事は川の流れの南側から行われていきます。南側には大きな通路が無いので、工事用の仮設の通路を作り、大型建設

機械を搬入しています。

土木工事も徐々に進化しています。

下の写真は岡田川の今回の工事部分です。右側の白いブロックが今年度の工事部分です。右手の奥側は、それ以前に施工されたブロック工事ですが、今回のものとは角度も形も違います。左の堤防部分は、相当以前に施工されたもので、すでに苔むしたような状態です。こういうブロックは長年、よく目にしてきたものですね。地形や必要な



何種類もの壁が分かる岡田川

強度、裏面からの排水方法などで、新しい方法が生まれてくるので、何はともあれ、早く出来上がって、安心できることが一番です。



大型の建設機械が入って作業が進められている

## 緑色の畝が伸びる麦畑

昨年11月に植えつけた麦が、青々と育ってきています。この冬、霜が降りて、凍りつくような寒さのなかでこうして育つのですから、麦というのはすごい植物ですね。

これから農業法人の担当メンバーは消毒などの作業が続きます。大型の管理機が、毎日のように走り回ることでしょう。

麦は稲作ほどの収量もないし生産額も多くはありませんが、地域の学校給食のパンなどに使われています。



これから初夏まで作業が続く

## 新たな人々お迎えしてパワーアップに

7班のアパートのそばに、新たなアパート「コート・ドール」ができました。早速入居が始まり、新しい住人が入って来られたようです。

農業者主体だった八方原自治会も今や、新しい住人の方々とのお付き合いなしには成り立たなくなってきました。地元独特の申し合わせや、慣行もきちんと説明する必要があるでしょう。あるいは改めるべきところは、改めて、より良い関係性が作れるようにしていかねばなりません。

今までの行事なども見直すべきところがあるかもしれません。



新しい「コート・ドール」の出入り通路